

まほろば



2021.3
第228号

「第 66 回卒業式を挙行了しました」



(撮影時のみマスクを外しました)

3月5日に第66回卒業式が挙行され、42名の看護師の卵が巣立っていきました。感染予防の観点から式典が規模縮小され、卒業生、保護者1名ずつ、学校関係者のみの出席となりました。校歌合唱も中止となりました。

令和2年は新型コロナウイルス感染症流行のため、臨地実習が学内実習に振り替えられることがたびたびあり（日本中の看護学生が同じ状況に置かれていますが）、学生が病棟に行く機会が減ってしまいました。「実習は実戦とは違う」という意見も巷にあります。当校の学生は、病棟で指導を受けながらケアを行ったり、患者様に寄り添って、必要な看護を自分で考えることで基礎的な看護実践力を身につけて、卒業の日を迎えるのが通例でした。それが叶わなかった今年度の卒業生は臨床の場で最初は苦勞するかもしれませんが、しかし、若者の持つ「育つ力」で頑張ってくれると信じております。皆様も応援よろしくお願いたします。

看護学校 教育主事：澤崎 恵美

第 19 回 北東北国立病院医療研究会の開催について

例年、北東北（青森県、秋田県、岩手県）の国立病院機構に属する病院の医療の質の向上と医療の連携を図り、政策医療及び地域医療の発展に寄与することを目的に年2回のペースで研究発表を行ってきたところですが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催が危ぶまれました。

1回目の時期である夏は見送り、2回目の開催時期である秋から冬にかけても、市中の感染はなかなか収束を見ず、首都圏を中心に緊急事態宣言が出される都府県が出る事態となりました。比較的落ち着いた東北地方と言えども、対面式の発表を一般的とする研究会発表は、県をまたぐ移動や三密を回避するための環境整備に対処する必要があり、イベント開催により医療機関から感染者を発生させる事態は避けたい思いから、非常にハードルが高いものとなりました。

一方で、年間を通して医療に従事するなか、研究に取り組んだ成果を発表する機会を失うこともまた、痛恨の思いでしたので、参加する病院で意見を出し合った結果、専用サイトを開設し、PDFで掲載、関係者で自由に閲覧する方法をとることになりました。

募集期間が短期間となりましたが、60演題も登録があり、無事開催することができました。通常の研究発表に比べて、直に発表し、多数の聴講のもと意見交換などの交流が持てないことは物足りないものがありますが、今後、上手に新型コロナウイルス感染症と向き合っ、研究発表していくための第一歩となったと思います。



管理課長：坂本 淳

第165回日本消化器内視鏡学会東北支部例会を開催して

このたび第165回 日本消化器内視鏡学会東北支部例会を開催させていただきました。

当初は昨年の7月に弘前で開催予定でしたが、コロナ禍で延期となり、また、移動制限も加わり、結局web形式となりましたが、2月5日(金)、東北6県から534名の参加者を迎え無事開催することができました。内視鏡機器、処置具の進歩に伴い、より多くの消化器疾患が内視鏡的に治療可能となり、救急医療における内視鏡の果たす役割はますます大きくなっていることから、シンポジウムでは、「緊急内視鏡の現状と課題～トータルマネージメントの観点から～」と題し、特に、閉塞性化膿性胆管炎、胆嚢炎に対する内視鏡的ドレナージ、胆管、消化管悪性狭窄に対する Intubation や Stenting、出血性潰瘍や憩室疾患に対する止血術などの治療についての発表をいただきました。高齢化社会においては、抗血小板薬 / 抗凝固薬 / NSAIDs などの多剤服用例も多く、内視鏡のタイミングや処置の侵襲性を含め、背景疾患を考慮した判断と対応が求められるからです。特に70歳を超えると5%、80歳を超えると10%が心房細動を有しており、出血傾向を来すリスクが高く、また一方で、絶食期間の延長は、口腔フレイルを来し QOL の低下を招くことも危惧されます。このような状況のなかで各施設における現状と問題点、課題と工夫について取り上げました。

ワークショップ「炎症性腸疾患における内視鏡検査と治療戦略」では、増加の一途をたどる炎症性腸疾患 (IBD) 診療における内視鏡の役割について11演題の発表をいただきました。小腸内視鏡の普及は、特にクローン病の小腸病変の評価のみならず、腸管狭窄に対するバルーン拡張術といった治療面における貢献も大きく、また特殊光観察や拡大観察を用いた粘膜病変の評価は、IBD 診療に有用な新知見につながる可能性を秘めています。内科治療の進歩に伴い、IBD の治療目標も粘膜治癒を目指す時代へと突入し、治療ストラテジーを決定する上でも内視鏡は欠かせないモダリティとなっており、その活用法を含め、IBD の診断 / 治療戦略 / 成績ならびにモニターリングの適正化についてさまざまな角度から焦点を当てた発表をいただきました。その他、研修医からはプレナリーセッションとして20題、若手医師フォーラムに6題、特別講演2題、共催セミナー3題の発表ならびに講演をいただきました。全体に演題の内容は充実したものが多く、現状の課題が明らかになり、新たな取り組みもたくさん見られ、(コロナ禍のこのような状況だからこそ) 情報共有という点で、大変有意義な会となったと思われます。積極的に参加 / 発表していただいた多くの内視鏡医、共催企業、ご高配いただきました弘前大学福田眞作学長並びに消化器血液内科運営事務局のご尽力に、心より感謝申し上げます。また当院からも主題演題2題の発表をさせていただきました。今後当院は内視鏡学会教育指導施設として、さらに拡充・発展することが期待されています。みなさまのご理解、ご協力のほどよろしく御願ひ申し上げます。

第165回 日本消化器内視鏡学会東北支部例会会長 臨床研究部長：石黒 陽

看護部紹介

看護部は外来、母子医療センター、病棟(5部署)、手術室の看護単位があり、病院組織の中では大所帯となっています。看護部長のリーダーシップのもと「患者さまに気遣いと配慮をし、安心と満足いただける確かな看護をめざします」という理念を掲げ、日々患者さんに寄り添い看護を実践しています。この1年で大きく変化したこととして、新型コロナウイルス感染対策があげられます。外来から入院そして地域へとつなげる継続した看護の提供にも少なからず影響し、誰もが今まで経験したことのない状況の中、迅速で柔軟な対応が求められてきました。多部門とも連携しながら看護師長を中心とする各看護単位が看護の力を結集し、底力を発揮してきたと思っています。

そして令和4年4月には弘前総合医療センター(仮称)として開院となります。新たな一歩を踏み出すべく看護部一丸となり準備をしているところです。



副看護部長：小林 貴子

🌸🌸🌸🌸🌸 春野菜を食べて免疫力を高めましょう 🌸🌸🌸🌸🌸

寒さも和らぎ少しずつ暖かい日が増えてきましたが、この時期は寒暖差が激しく体調を崩しやすい季節でもあります。春に旬を迎える食材はビタミンやミネラルが豊富で、免疫力を高め、疲労回復に効果的です。今回はそんな春野菜を使用したレシピと栄養素についてご紹介します。

《春野菜レシピ》



アスパラガスの肉巻き

《材料（2人分）》

- ・アスパラガス…1束
- ・ジャガイモ…1個
- ・人参…1/2本
- ・豚肉…16枚
- ・サラダ油…小さじ2
- ・水…1カップ
- ・酒…大さじ2
- ☆白みそ…大さじ1
- ☆みりん…大さじ2
- ☆醤油…小さじ1

《作り方》

- ① アスパラガスは根元の固い部分を取り除いて半分に切り、ジャガイモと人参は0.5cmの拍子切りにします。
- ② 豚肉を2枚並べ、アスパラガス、ジャガイモ、人参を乗せて巻きます。
- ③ フライパンにサラダ油を入れ、②の巻き終わりを下にしておき、弱火でふたをして焼きます。
- ④ 肉の色が変わり始めたら水、酒を入れ、ふたをして10分煮ます。
- ⑤ ☆の調味料を加えて弱火で転がしながら10分煮たら完成です。

※材料はご自宅にある食材に変更しても大丈夫です。

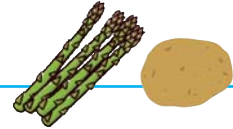
《免疫力を高める栄養素》

ビタミンA



人参に多く含まれており、鼻やのどの粘膜を強くし、菌やウイルスが体内に侵入することを防ぎます。また、油と一緒に摂取することで吸収力が高まるため、炒め物がおすすです。

ビタミンC



アスパラガスやジャガイモに含まれており、白血球に作用し免疫力を高めます。また、疲労回復効果もあり体を元気にします。

栄養管理室：竹内 海斗

研修医便り

こんにちは。研修医1年目の小原玲音（あきね）です。2月は呼吸器内科で中川先生のもと研修させていただいています。研修医になってもうすぐ1年になりますが、病棟でも外来でも、まだまだわからないことばかりです。先生方はもちろん、看護師さんや技師さんにたくさん助けていただいています。いつもありがとうございます。



わたしの出身は茨城県です。ご存じの通り、7年連続で魅力度ランキング47位と最下位でしたが、2020年には42位まで浮上しました。そして青森県も！20位から14位までランクアップしたそうですね。青森県に来たばかりの頃は、冬の雪や寒さに圧倒され、津軽弁がわからずに戸惑いました。ですが、おいしいものがたくさんあり、桜祭りやねぶた祭りとイベントも多く、今では大好きです。今年はコロナが落ち着いて、また季節のイベントを楽しめると良いですね。

4月から2年目に入ります。気を引き締めて頑張りますのでよろしくお願いいたします。

臨床研修医：小原 玲音

お世話になっております。研修医1年目の奈良馨と申します。奈良という苗字ではありますが、生まれも育ちも青森である生粋の青森県民です。例に漏れず塩っ気の強い食べ物が好物で、ご飯のお供の消費スピードが留まることを知りません。最近はだんだんと血圧に怯えるようになり、血圧計の購入を真剣に検討するようになりました。

さて、2月現在は、呼吸器内科で研修させていただき、山本先生を主な指導医として先生・先輩など様々な方々から日々ご指導いただいております。自分の至らなさを痛感する毎日であり、ご指導下さる方々への感謝が募るばかりです。残りの研修期間も、健康や生活の管理に気をつけながら自分にやれるだけは頑張りたいと思っていますので、引き続きご指導いただけましたら幸いです。何卒よろしくお願いいたします。

悪天候が続きますが、皆様もどうぞご自愛ください。



臨床研修医：奈良 馨

外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (令和3年3月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本秀樹	熊本秀樹/石田祐司	熊本秀樹	熊本秀樹	横田貴志
呼吸器内科		中川英之	山本勝丸	中川英之	山本勝丸	中川英之
		山本勝丸	下山垂矢子	下山垂矢子	下山垂矢子	下山垂矢子
		下山垂矢子	田中佳人	田中佳人	—	田中佳人
		—	石岡佳子	—	—	—
消化器・血液内科		松木明彦	相原智之	相原智之	松木明彦	相原智之
		山口公平	間山恒	松木明彦	間山恒	山口公平
		澤谷学	貝塚尚俊	佐藤年信	貝塚尚俊	佐藤年信
		石黒陽	石黒陽	澤谷学/貝塚尚俊	石黒陽	石黒陽
	午後 血液内科のみ	間山恒	山口公平	間山恒	山口公平	—
脳神経内科		中村崇志/木下郁	清野祐輔	—	清野祐輔	清野祐輔
小児科		杉本和彦	佐藤工	敦賀和志	佐藤工	杉本和彦
		敦賀和志	橋本礼佳	佐藤啓	遅野井香純	佐藤啓
		遅野井香純	藤岡彩夏	藤岡彩夏	橋本礼佳	藤岡彩夏
外科		柴田滋	内田知頭	柴田滋	内田知頭	三上勝也
		—	堤伸二	堤伸二	堤伸二	—
呼吸器外科		對馬敬夫/畑中亮	對馬敬夫/畑中亮	—	對馬敬夫/畑中亮	對馬敬夫/畑中亮
乳腺外科		小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅
整形外科	午前	陳俊輔	秋元博之	秋元博之	陳俊輔	秋元博之
		中村吉秀	中村吉秀	岩崎宏貴	中村吉秀	岩崎宏貴
		岩崎宏貴	陳俊輔	飯尾浩平	飯尾浩平	飯尾浩平
脳神経外科		—	—	木村正英	—	—
皮膚科	午前	熊野高行	熊野高行	熊野高行	熊野高行	熊野高行
		是川あゆ美	是川あゆ美	是川あゆ美	是川あゆ美	是川あゆ美
	午後	● 予約	● 手術/検査	● 予約	● 手術/検査	● 予約
泌尿器科	午前	松本哲平	松本哲平	松本哲平	松本哲平	松本哲平
	午後	検査	検査	手術	検査	手術
産婦人科		飯野香理	當麻絢子	追切裕江	● 妊婦健診 (一般外来休診)	飯野香理
		追切裕江	丹藤伴江	丹藤伴江		横山万智
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	—	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		西澤尚徳	西澤尚徳	(手術)	西澤尚徳	西澤尚徳
		—	—	—	三浦菜	—
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
		藤田環	藤田環	藤田環	藤田環	藤田環/辰尾宗一郎
	治療	—	—	川口英夫(午後)	—	川口英夫(午後)
女性専用外来		杉本菜穂子(※予約制/第1・第3水曜日午後診療)				
セカンドオペニオン		佐藤温(※予約制/第2・第4木曜日14時~16時)				

- ※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。
- ※ セカンドオペニオン外来は第2・第4木曜日の14時~16時です。
- ※ 循環器内科、石田医師の診察は13時~16時です。
- ※ 放射線科、藤田医師・辰尾医師の診断は午後です。



患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地

TEL 0172-32-4311

FAX 0172-33-8614

URL <http://hirosaki.hosp.go.jp/>

責任者：副院長 小田桐 弘 毅